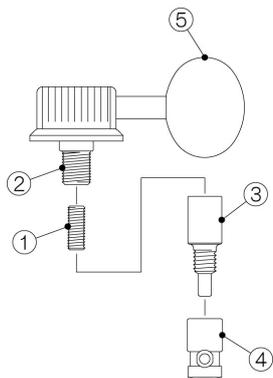


GOTOH H.A.P.M(ハイトアジャスタブルポスト・マグナムロック)取扱説明書
 ~SD90・91/SD510・SDS510 共通~



- 部品構成
 (1) 固定ビス
 (2) 固定軸
 (3) 可動軸
 (4) ロックナット
 (5) ツマミ

1 プッシュ交換および糸巻きの取り付けについて

- 交換前の糸巻きの軸径が、SD90/SD510HAPMの軸径(φ6)と異なる場合、専用プッシュへの交換が必須となります。内径の異なるプッシュをそのまま使用すると糸巻きの性能及び耐久性が損なわれます。必ず付属の専用工具でギターに現在付いているプッシュを抜き、専用プッシュに交換してください。その際、固着したプッシュを無理に打ち抜くと塗装の剥離やヘッド割れを招く可能性がありますので慎重且つ丁寧に作業を行ってください。また、プッシュを打ち込む際も同様の注意が必要です。

※ステップドホール加工のヘッドの場合、付属の工具は使用できません。リペアショップ等へご相談ください。

- ロックナット④の弦穴の小さい物(φ1.2)が1~3弦用、弦穴の大きい物(φ1.8)が4~6弦用です。

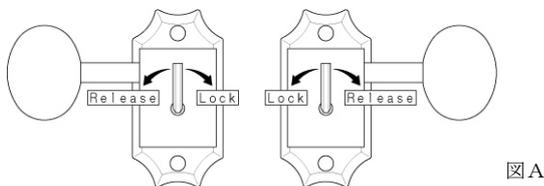
※1~3弦用には糸巻き裏側に識別ステッカーが貼ってあります

- 取り付けの際、プッシュの中心に対し偏った取り付けをすると、糸巻きの性能及び耐久性が損なわれますので、巻き軸がプッシュのセンターに配置される様、取り付けをしてください。弦を張った際、著しく巻き上げが重くなるなどの症状は取り付けの偏心が原因と考えられます。また、付属の木ネジで糸巻きを固定する際、下穴径及び下穴深さをご確認ください。ネジに対し下穴が適切でなかった場合、ネジ折れやヘッド割れを招く危険性があります。

***上記作業を行う際は事故や楽器の破損の無いよう慎重に行ってください。作業に自信や経験の無い方はリペアショップ等への作業依頼をお勧めいたします。ご自身で交換された際の事故や楽器破損、その他のトラブルに關しましては自己責任とし当社では一切の保障を致しかねます事をご了承ください。

2 可動軸のロックと解除

可動軸③のロック/解除は本体カバー中寄りの穴にレンチを差し込み固定ビス①を回し行います。この時、左右の糸巻き本体でロックと解除の方向が異なりますのでご注意ください。(図A参照)



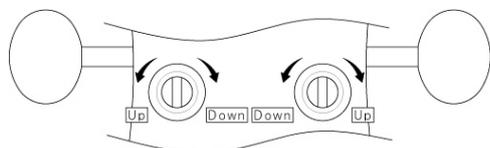
図A

3 軸の高さ調整

前項の操作で固定ビス①を解除し可動軸③の高さ調整を行います。

※軸を低めにセットしたい場合は可動軸③解除後、固定ビス①を十分に下げておく必要があります。

確実にロックが解除されていれば可動軸は手で回すことができます。この際も、本体の左右の別により可動軸の調整方向も異なります。(図B参照)



図B

上記の作業により軸長を任意の高さに設定した後、可動軸③を確実にロックし作業完了です。

**各弦の可動量は4.5~5ミリです。可動の範囲内でご使用ください。尚、可動軸③に抜け止めは付いておりません。緩めすぎると固定軸②から抜け落ちますのでご注意ください。

高さ調整の際、ロックナット④のみ回ってしまう場合は一度可動軸③をロックし、コイン等でロックナット④と可動軸③を軽く固着させた後、再度ロックを解除し行ってください。

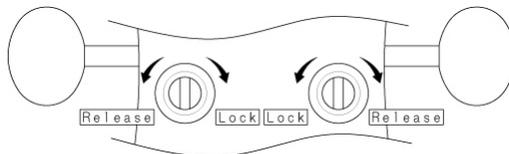
※ロックナットの回転方向は可動軸と同じです。

注意 可動軸③を高めに調整した際、固定軸②と可動軸③のネジ噛み合い量を最低2回転は確保してください。それ以下の場合、弦の張力による軸の脱落や破損の原因となります。可動軸③を最下限まで下げた状態で固定ビス①をロックせず弦を張ってしまうと、弦のテンションにより固定軸②と可動軸③が固着し手動での再調整ができなくなります。弦を張る前に必ず固定ビスがロック状態である事をご確認ください。

4 弦の張り方

**マグナムロックは弦のテンションによってセルフロックされるシステムです。ロックナット④をコイン等で強制的に回してもロックすることはできません。

- 弦が通るスペースが確保できるまでロックナット④を緩めます。ナットを手で緩める事が困難な場合はコイン等を使用し緩めてください。この際、本体の左右の別によりロックナットの回転方向が異なります。(図C参照)



図C

- 弦をロックナット④に通し、弦の先端を強く引きながら弦を巻き上げる方向にツマミ⑤を回します。

※弦を強く引かない状態でもロックは可能ですが巻き数が増えロックングシャフト本来の機能が生かせません。ワインダーを使用する事で作業が簡潔になります。

弦がロックされるとロックナット④が回り始ますので弦を引く手を放し、チューニングをする前に弦に十分にストレッチをかけ確実にロックします。(図7)

- その後、チューニングをして完了です。

5 弦交換

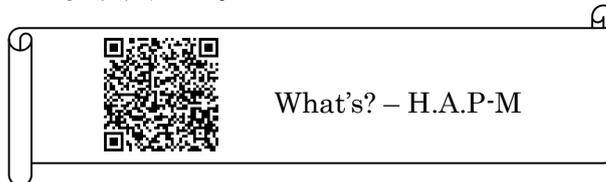
■弦が切れてしまった場合の弦交換

コイン等を使用しロックナット④を強制的に解除します。この際、本体の左右の別によりロックナットの回転方向が異なります。(図C参照)

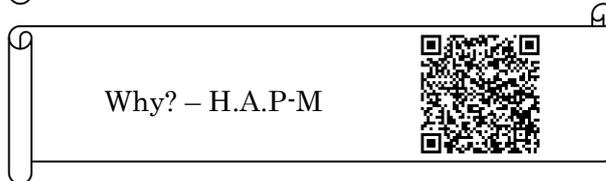
■弦が張られた状態での弦交換

弦を緩める方向へツマミ⑤を回し続ける事でロックが解除されます。

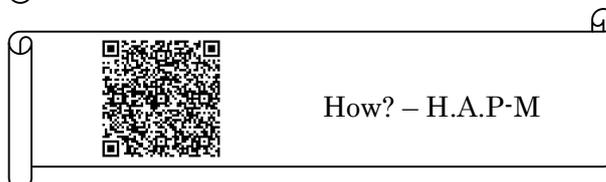
※弊社 Web サイトに動画マニュアルがございます。ご不明な点がある場合はそちらも参照ください。



What's? - H.A.P.M



Why? - H.A.P.M



How? - H.A.P.M